

科目名	期別	単位数	開講年次	担当教員名
(新) (旧) 公法総合演習Ⅱ	後期	2単位	(標) 3年 (既) 2年	小原 清信 日野田 浩行 松本 佳郎

授業目的
 今まで2年間で学習してきた知識が身に付いているかどうか、その応用力を試す。抽象的な法的知識も、具体的な事件でどうあてはめて問題を解決していくかとなると、これは非常にむづかしいのである。公法総合演習では、長文の具体的な応用事例が学生に示され、その事案に対して適用される法を見だし、結論に至る論理的道筋を整理し主張する能力が問われる。理論と実務を融合した法解釈技術・事案解決能力を向上させる演習であり、必修科目に準ずるものと考えてもらいたい。

達成目標
 今まで学習した知識を融合して、与えられた事例問題に対して、憲法あるいは行政法上の論点をきちんと抽出できる、事案に適用する法を見いだすことができる、過去に判例が下されている論点については、判例の趣旨を正確に理解している、学説が分かれている論点については少なくとも通説とされる学説は正確に理解している、市民あるいは行政側の弁護士として主張をすべき論点がきちんと整理できることなどが目標である。

授業計画と予習事項	回数	各回タイトル	授業内容、予習基本事項
	1	憲法事例問題演習Ⅰ(1)	包括的基本権および法の下での平等にかかわるテーマにつき、応用的・総合的事例を検討する。テキストとして指定した『事例研究 憲法』の第2部の[問題1]～[問題3]、および第3部[問題1]はていねいに読んでおくこと。
	2	憲法事例問題演習Ⅰ(2)	前回の応用事例の検討で学生が提示した論点をふまえ、さらに発展的な応用事例を教員側が提示し、検討していく。
	3	行政法事例問題演習Ⅰ(1)	行政処分・行政指導・行政強制にかかわるテーマにつき、応用的・総合的事例を検討する。行政法の教科書の基本的な論点を復習しておくこと。
	4	行政法事例問題演習Ⅰ(2)	前回の応用事例の検討で学生が提示した論点をふまえ、さらに発展的な応用事例を教員側が提示し、検討していく。
	5	憲法事例問題演習Ⅱ(1)	経済的自由権および社会権にかかわるテーマにつき、応用的・総合的事例を検討する。テキストとして指定した『事例研究 憲法』の第2部の[問題7]と[問題9]、そのほか事前に指示する判例はていねいに読んでおくこと。
	6	憲法事例問題演習Ⅱ(2)	前回の応用事例の検討で学生が提示した論点をふまえ、さらに発展的な応用事例を教員側が提示し、検討していく。
	7	行政法事例問題演習Ⅱ(1)	行政法に関する総合ないし融合的テーマの具体的な応用事例を検討する。
	8	行政法事例問題演習Ⅱ(2)	前回の応用事例の検討で学生が提示した論点をふまえ、さらに発展的な応用事例を教員側が提示し、検討していく。
9	憲法事例問題演習Ⅲ(1)	人権論と統治機構論の両方にまたがる複数の論点を含む応用的・総合的事例を検討する。テキストとして指定した『事例研究 憲法』の第2部[問題8]・[問題11]・[問題13]、そのほか事前に指示	

		する判例はていねいに読んでおくこと。
10	憲法事例問題演習Ⅲ（２）	前回の応用事例の検討で学生が提示した論点をふまえ、さらに発展的な応用事例を教員側が提示し、検討していく。
11	行政法事例問題演習Ⅲ（１）	行政法に関する総合ないし融合的テーマの具体的な応用事例を検討する。
12	行政法事例問題演習Ⅲ（２）	前回の応用事例の検討で学生が提示した論点をふまえ、さらに発展的な応用事例を教員側が提示し、検討していく。
13	行政法事例問題演習Ⅳ（１）	行政事件に精力的に関わってきた実務家の立場から行政法に関する総合ないし融合的テーマの具体的な応用事例を検討する。
14	行政法事例問題演習Ⅳ（２）	前回の応用事例の検討で学生が提示した論点をふまえ、さらに発展的な応用事例を教員側が提示し、検討していく。
15	行政法事例問題	まとめとして、行政法の事例問題にどう対処するかを検討する。
授業方法・ 予習上の留意点(各回指示以外) 自習事項	どの教科書でも良いから、テーマに関する箇所をていねいに読んでおくこと。	
評価方法と 評価基準 (期末試験、 レポート、 ディベート等)	3人の教員がそれぞれ応用事例について学生に提出してもらった論文の合計点で評価する。なお、欠席1回につき、2点ずつ減点する。	
テキスト 独自教材	木下智史ほか編著『事例研究憲法』（日本評論社）	
参考書	曾和俊文・金子正史編著『事例研究行政法』（日本評論社）	